

令和 8 年 第 2 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 要 旨〔概要版〕

● 2 月 2 5 日 (水) : 順 番 1 ~ 順 番 4

順 番	1	質 問 者 氏 名	風 間 輝 榮
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1	新年度予算(案)について	新年度予算(案)の特徴と重点施策・当初予算額について伺います。	
2	「マイナンバーカード」の変更について	令和 8 年 4 月 からマイナンバーカードが変更されるという話もありますが、主な改正点について伺います。 ① 主な変更点についてどのようになるのか。 ② 新マイナンバーカードの持つメリットは何か。 ③ 阿賀野市民の所有者人数と所有していない人数はどうなっているのか。 ④ 更新に際して、前回同様にポイントは付く予定なのか。 ⑤ 新カード普及に向けてどのような取り組みを考えているのか。	
3	福社会館の延命について	先日の全員協議会で執行部の考え方をお聞きしましたが、3 年間延長と期限を付けておりますが、修繕費を最小限にとどめ、できる限り延命する方向で再度検討すべきだと考えますが、市長の考えを伺います。	

順 番	2	質 問 者 氏 名	披 田 野 勝 幸
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1	地域おこし協力隊の活動状況と任期満了後の定住支援策について	今春で任期満了となる協力隊員が 2 名おられるとのことですが、その皆さんは任期満了後も着任された当時の志のとおり、活力ある阿賀野市を創造するため、引き続き阿賀野市に定住し活動するお考えでおられるのかお伺いします。 また、市として独自に、任期満了後の協力隊員の定住に向けた住宅などの確保や就職口または起業（農業や各種の技術を身に付けた各職種）への各種支援策の準備、あるいは検討をしておられるのかお伺いいたします。	
2	産地化指定園芸品目の継続的振興と支援策について	阿賀野市の近年の県指定園芸品目は「いちご」や「カリフラワー」などが指定され、また喜ばしいことに笹神地区では、かつて一部の地域・農家で栽培されていた「笹神なす」の栽培が復活しています。 この度、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、園芸農家や椎茸生産農家を支援していただくことは大変有難いですが、存続のためには継続的支援策が大切と思います。 阿賀野市には「がんばる農家応援事業」や「阿賀野市農林水産業総合振興補助金事業」などの支援制度があり、親元就農支援などと	

<p>3 阿賀野市環境基本計画の実現に向けた取り組みについて</p>	<p>併せ、この両支援制度の有効活用によって、失われつつある旧産地品目の復活・継続のためにも応援・支援をするお考えについてお尋ねします。</p> <p>阿賀野市環境条例に基づく環境基本計画では、公共施設での二酸化炭素削減のため太陽光パネル設置や照明のLED化、高効率空調設備などへの入れ替え、あるいは公用車の電気自動車への更新を進めるとしてはいますが、これまでの取組状況についてお聞かせ願います。</p> <p>「阿賀野市中小企業省エネ設備導入促進事業補助金」を創設し、事業所からは「大変良い支援制度で助かっている」との高評価を得ている一方で、社会福祉事業所などは対象から除かれております。このようなことから、社会福祉事業所など全業種を対象としてほしかったと思っておりますが、国の各メニューの中から中小企業向けを対象としたのかお伺いします。</p> <p>また、一次募集では希望事業所が少なく、二次募集してもなおも予算は余ったとお聞きしますが、実績はどうであったか、余った交付金は国に返還するのか、併せて支援制度立ち上げの際に社会福祉事業所なども対象にすれば余ることはなかったと思っておりますが、その辺の検討はなされたのかをお伺いします。</p>
------------------------------------	---

順番	3	質問者氏名	清野栄一
質問事項	質問要旨		
<p>1 県営産業団地における企業立地等について</p>	<p>以下について伺う。</p> <p>①日揮触媒化成（株）の立地工程及び立地に伴う波及効果</p> <p>②その他の企業等の立地見込み</p> <p>③産業団地における製造品出荷額と雇用の状況（市内、市外）</p> <p>④産業団地の政策上の位置づけと課題</p>		
<p>2 福社会館について</p>	<p>2月2日、福社会館の3年間存続の説明があったが、地域や利用者の多くは継続的な存続を望んでいる。</p> <p>改めて聞くが3年間の根拠は何か。</p> <p>特に水原地区は避難所収容数が大きく不足、旧国道から東側の貴重な避難所になっている。市民の生命・安全安心を守るためにも行政改革推進委員会の答申を尊重し福社会館廃止（案）は撤回すべきと思うが如何か。</p> <p>また、福社会館の副次効果についても伺う。</p>		
<p>3 阿賀野市行政改革推進委員会について</p>	<p>委員会の設置理由と性格及び答申の位置づけについて伺う。</p>		

順番	4	質問者氏名	遠藤 孝
質問事項		質問要旨	
1	今季の除雪業務と対応について	<p>当市においては、大雪警報が1回発令されたようですが、災害警戒本部を立ち上げて対応していただき、日常的除雪体制が機能したものだと思います。温暖化などの気候変動によって、暖冬であっても記録的な大雪に見舞われることが考えられ、除雪体制の強化が必要になってくるかと思いますが、以下の5項目について伺います。</p> <p>①市の今季における現時点での除雪出動回数（地区別）や経費、今後の見込み、例年との比較などについて。</p> <p>②市民から「できることなら通勤時間までに除雪していただきたい」という要望があるかと思いますが、除雪路線や出動時間によっていろいろあるかと思いますが、目標終了時間と状況について。</p> <p>③全国的に除雪業務を受けてくれる業者が年々減少し、業者選定に苦慮しているのか。いない場合、市外の業者選択肢もあるのか。</p> <p>④昨年からGPSを活用した「除雪管理システム」の運用を開始していますが、除雪に関する体制や作業状況、利点、課題について。</p> <p>⑤（除雪時を含む）道路の維持や管理、今後の計画について。また、道路の損傷による賠償件数やその推移、地域性、事故事例などについて。（除雪時損傷を含む）</p>	
2	市のシンボル「桜」について	<p>阿賀野市では、平成19年に「桜」を「市の木」に制定しています。国の天然記念物に指定された越後七不思議の1つである「珠数掛桜」や新種の「結桜」をはじめ29か所の桜の名所が阿賀野市「桜めぐりパンフレット」（令和7年3月発行）に掲載されております。</p> <p>阿賀野市の観光スポットとして期待するところではありますが、市としてのPRと取り組み、市が管理する桜の維持管理、今後の計画について伺います。</p>	

● 2月26(木)：順番5～順番10

順番	5	質問者氏名	遠藤智子
質問事項		質問要旨	
1 安田インター入り口の看板について		<p>平成6年の磐越自動車道・新潟 - 安田間開通時、安田インターの入り口に旧4か町村等の観光の目玉を掲載した看板も設置されました。</p> <p>しかし、現在は経年劣化で表示が薄くなり、モニュメントも古くなって、市の魅力を伝える役割を果たすことができない状態となっています。</p> <p>阿賀野市の玄関口として、たくさんのお客様を迎えるものとしては、良い印象を与えるものではないと感じています。</p> <p>このままの状態にはしておけないと思いますが、今後、この看板の取り扱いについて市長の見解をお伺いします。</p>	

順番	6	質問者氏名	阿部順三
質問事項		質問要旨	
1 ごみ有料化の周知徹底について		<p>1月24日のごみ有料化についての説明会に参加しました。丁寧な説明で良く理解ができました。</p> <p>しかし、市民の皆さんの参加が約40名で少ないと感じました。隣に座っていた人に「この説明会は何で知りましたか。」と尋ねたところ「広報で知りました。」と回答をいただきました。私も広報を見て参加しましたが、他の地域の説明会の参加人数はいかがでしたでしょうか。</p> <p>説明会のPRの仕方を考えていただきたいと思います。</p> <p>ごみの減量化は、市として解決しなければいけない問題で、市民の理解がなければならぬものです。有料化について、説明会に参加された市民の皆様の反対意見はありませんでした。</p> <p>今後も様々な行政サービスの有料化や料金の値上げなどがあると思いますが、説明会に参加を促す方法を考えてください。例えば、近隣の自治会長さんに協力をお願いして集めていただくなどはいかがでしょうか。</p>	

順番	7	質問者氏名	荒澤浩和
質問事項		質問要旨	
1 京ヶ瀬中学校グラウンドについて	<p>当初の予定では、令和7年10月着工、令和8年8月竣工の予定だったスケジュールが、国交付金の内定が遅れたことにより工事全体の計画も遅れていることで、新年度の学校行事や生徒の活動内容への影響が懸念されます。</p> <p>現在の進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。</p>		
2 農業者支援(農業用機械導入支援事業)について	<p>2月2日の臨時会で補正予算が可決され、物価高騰による生産費上昇の影響を受けている農業者に対し、生産費の一部を補助し、農業経営を支援するための農業用機械導入支援事業が実施されることになりました。</p> <p>今回は国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用したもので、それを農業分野にも配分してもらえたことに感謝しています。</p> <p>しかし、農業者を取り巻く厳しい環境は依然として変わりません。この事業に関しては、今後も市の独自事業として継続してほしいという市民からの要望もありますが、市長の考えを伺います。</p>		
3 AIオンデマンドバスについて	<p>AIオンデマンドバスの運行については、何人かの予約が入り、ルートが決まってしまうと、その後の予約を受け付けてもらえないという話が聞かれます。通勤・通学や通院など、天候によって「今、利用したい」というときに予約をすることができない状態になっていることがあるようです。</p> <p>新潟交通のバスや市内タクシー業者等との共存も必要ですが、特に学生にとっては大きな負担となってしまいます。</p> <p>今後の対応について、どのように考えているのか伺います。</p>		

順番	8	質問者氏名	宮脇雅夫
質問事項		質問要旨	
1 ゴミ処理問題について	<p>①地球環境悪化の最大の問題ープラスチックごみについて</p> <p>世界では、使い捨てプラスチック製品の製造・販売・流通の禁止に踏み込む流れが広がっています。容器包装プラの削減につながるデポジット制度の導入など、経済・社会のあり方の転換により、プラスチックの生産量・使用量の削減が必要だと思いますが、市長の見解と市で出来る新たな対策がありましたら、伺います。</p> <p>②当市のごみ減量対策について以下の点を伺う。</p> <p>(ア)食品ロス削減対策について</p> <p>小売りなど流通段階だけではなく、食品メーカー段階でのロスの削減も重要です。廃棄食品の再生利用の工程が適切に行われるよう、透明化を図り、大量排出者である食品関連事業者の適切な</p>		

<p>2 「特定技能」による外国人労働者について</p>	<p>監視と指導が必要でないか。</p> <p>(イ) 生ごみの新たな減量化対策はどうか。</p> <p>(ウ) 事業系ごみの対策</p> <p>「市のごみ有料化(案)」の「ごみ排出量の推移」(表1)では、家庭系ごみ76.9%、事業系ごみ23.1%となっているが、家庭系ごみだけが減量対象で事業系ごみは対象にならないのか。</p> <p>(エ) 「クリーンセンターあがのがわ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理能力は122t/日(61t/日×2炉)となっているが、今年度の実績見込みはどうか。</li> <li>・市のごみ処理費用は令和6年度約5億円弱の支出としているが、今後5年間の処理費用の推計額について。</li> </ul> <p>(オ) ごみ有料化で減量化ができるとする具体的な根拠について。</p> <p>(カ) 有料化の総額予定と市民1人当たりの負担額。</p> <p>近年、政府は在留資格を次々と追加しながら外国人労働者の受入れを行い、育成就労、技能実習生、留学生、日系人保護の建前をとりながら、実際はいずれも安価な労働力として利用しています。2019年4月に新しい在留資格「特定技能」による外国人労働者の受入れが始まりました。</p> <p>今、外国人労働者問題について求められているのは、外国人労働者の基本的人権が保障される秩序ある受入れと、共に生活するための支援体制です。外国人労働者に人間らしい生活を保障するための施策をすすめるため、在留資格の種類にかかわらず、外国人労働者の家族の帯同を実現する。妊娠、出産に対する不利益取り扱いを根絶し、子どもと共に暮らし、育児をしながら働き続けることができる制度に改善する。生活全般に係る相談を一元的に受け入れるワンストップセンターの整備を推進する。地域での円滑な日常生活をおくるために、夜間中学などを含め外国人労働者・家族の日本語教育に取り組む。外国人児童の学校教育、外国人学校の支援に取り組み、多文化共生社会の実現を図ることです。</p> <p>そこで、阿賀野市での「特定技能」の外国人労働者について以下の点を質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①雇用している主な事業者数と業種、労働者数。</li> <li>②住民税の滞納者数、生活保護受給者数。</li> <li>③外国人労働者の市民からの苦情・相談数。</li> <li>④「特定技能」による外国人労働者問題の市長の見解。</li> </ol>
------------------------------	---

順番	9	質問者氏名	松 崎 良 繼
質問事項		質問 要 旨	
1 食糧法改定と 地域農業振興 について	<p>令和の米騒動は、長年の亡国農政の結果である、国民の主食、米の危機的事態をあらわにし、米政策の根本的転換を迫るものになりました。政府のコメ政策の方向について加藤市長の見解を伺います。</p> <p>農業用機械導入支援事業は、農家、農業団体の長年の要望が実ったものとして評価します。ただ予算枠はすぐにもいっぱいになるのではと予想されます。その場合早期に追加予算を組んでいただきたいと思い、検討を求めますが、見解を伺います。</p> <p>ポイント制で採択をするということですが、南魚沼市のように農産物の生産販売に取り組む農家を差別せずに支援すべきと考え、再考を求めますが、見解を伺います。</p>		
2 少子化対策について	<p>市は人口減少対策を、持続可能な阿賀野市実現のための第一の視점에挙げています。日本が直面している2つの問題があると考えます。</p> <p>一つは労働法制の規制緩和による人間らしい雇用の破壊、教育費をはじめ子育てへの重い経済的負担、ジェンダー平等や子どもの権利が守られない”人権後進国”の実態が、子どもを産み、育てることに希望の持てない社会にしてしまったからです。もう一つは農業、林業の衰退と、それと結びついた産業・働き場がないことが社会的流失を加速させていると言わねばなりません、市長の見解を伺います。</p> <p>阿賀野市が進めてきた学校給食無償化をめざす取り組みで、来年度中学校の給食費2分の1助成が提案されていますが、独自財源を回して中学校でも無償化を実施することを求めますが、答弁をお願いします。</p> <p>子どもの数の減少により保育園、こども園の運営が懸念されています。財政支援を強めるべきと考えますが答弁を求めます。</p>		
3 住宅リフォーム支援制度について	<p>東京商工リサーチによると1月の企業倒産件数は前年同月比5.5%増の887件で、11か月連続で中小企業が全件を占めたと報じられました。</p> <p>零細業者はさらに深刻で、新築住宅が建たない、仕事があっても資材高騰で施工しても赤字になりかねないという声が出されています。</p> <p>市が行っている住宅リフォーム支援事業は2018年度から補助上限額がそれまでの半分の15万円に引き下げられていますが、建築費が大幅に上昇している中、支援額を元の上限30万円にしてほしいという、事業者の強い声があり、景気対策としても応えるべきと思いますが考えを伺います。</p>		

順番	10	質問者氏名	天 野 市 榮
質問事項	質 問 要 旨		
1 高齢者世帯の生活面における課題について	<p>医療技術の進歩や生活環境の向上により、「人生100年時代」という長寿社会を指す言葉が定着している。高齢になっても身体的・精神的・社会的に満たされ人生に充実感や幸福感、満足感を感じている状態（QOL）が継続的に維持できる健康寿命の延伸が前提になっている。QOLの維持・向上を図るには高齢者自身の取組だけでなく行政の支援も必要とされている。特に高齢者のみの世帯においては、日常生活を営む上で不安や不便さを感じる人が多いものと推察される。このような視点で考えた場合の高齢者福祉の課題について伺う。</p> <p>(1) 高齢者のみの世帯数3,076について、4地区別（水原・安田・笹神・京ヶ瀬）の内訳はどうなっているのか。</p> <p>(2) 高齢者世帯が感じる生活上の不安や不便さとしてどのような点が挙げられるのか。</p> <p>(3) 住まいの不安や不便さは、どのような点が挙げられるのか。地域別（市街地、市街地周辺、農村集落）で見た場合はどうか。</p> <p>(4) 令和7年6月に政府が閣議決定した「地方創生2.0基本構想」（施策集）には、「小規模であっても年齢や障害の有無を問わず様々な人々が集い、それぞれが持つ能力を希望に応じて発揮し、生きがいを持って暮らすことができる場（小規模・地域共生ホーム型CCRC）の整備を進める」とある。政府が想定している日本版CCRCは個室を備えたシェアハウスであり、運営は社会福祉法人やNPO法人などが行うもので介護施設や障害者グループホームを併設する。閉校となった学校施設や遊休化している旧町村時代の公共施設の新たな活用方法として検討してみてはどうか。</p>		
2 市内事業所における人材確保について	<p>本市の場合、2020年時点の生産年齢人口が2050年には50.6%減少し10,945人となる。記事では「働き手である年齢層が大幅に減少すると地域の産業や福祉の人材不足に直面するほか、自治体運営や交通・物流を維持することが困難になる恐れがある」と指摘している。以上の現状認識から以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市内の事業所において、人手不足が顕著な業種はどこか。</p> <p>(2) 市内の事業所において、ロボット技術の導入や外国人労働者の活用が進んでいる業種はどこか。</p> <p>(3) 市内事業所の人材確保を支援するために市はどのような施策を講じているのか。</p> <p>(4) 市内の事業所で働く外国人の多くは市内に居住していることから、住民税の納税義務者であり行政サービスの受け手でも</p>		

<p>3 新潟大学医学部と連携した市民病院での寄附講座の開設について</p>	<p>ある。令和2年国調データによれば市内に居住する外国人は240人となっている。数は少ないものの外国人人口は着実に増えている。市は共生社会の実現に向けてどのような支援策を講じているのか。</p> <p>寄附講座についてはこれまでの3つの講座（生活習慣病、消化器疾患、運動器疾患）が開設されているが、令和8年度には新たに循環器総合医療学講座が加わることとなった。</p> <p>寄附講座の開設に当たっては市の要望や意向が反映されているのか。また、これら寄附講座の開設が市民病院の診療機能の拡充に向けてどのような形で貢献しているのか。</p>
--	--

● 3月4日(水)： 順番11～順番12

順番	11	質問者氏名	清水博英
質問事項	質問要旨		
<p>1 福社会館の今後の運営方針案について</p>	<p>公共施設等総合管理計画 第1期アクションプランにおける、行政改革推進委員会の意見は、「利用者が多いにも関わらず、照明が暗いなどの不具合が多いので、それらの改善を図ること。大規模改修が必要である。」と答申されています。これらを踏まえて、次の点について質問します。</p> <p>①参考資料の館内利用率（令和6年度）算出方法と水原公民館の館内利用率ならびに年間利用人数について伺います。</p> <p>②福社会館は、文化・生涯学習活動の拠点として、水原市街地において、立地的にも規模的にも利用団体や周辺自治会にとって、水原公民館と同様になくてはならない公共施設です。よって、新耐震基準も満たし、躯体に問題がない施設であることから、地域住民の利便性が低下しないよう、行政改革推進委員会の答申にもあるように、計画的に必要な修繕・整備を行い、将来にわたって維持・存続すべきと考えますが答弁を求めます。</p> <p>③「災害時における避難体制を整備するとして、民間施設等の協力の下、緊急避難場所の整備を進める」とのことですが、現時点で想定される民間施設があれば提示いただきたい。</p>		
<p>2 中学校給食費の無償化について</p>	<p>給食費の無償化は、子育て世帯の経済的負担軽減や少子化対策にも効果的といわれ、物価高騰を受け導入する自治体も増加傾向にあります。中学校の給食完全無償化を求めるとともに、次の点についてお伺いします。</p> <p>①現在、当市では給食費を小中学校で3分の1相当を助成しています。今年度の小中学校ごとの助成総額と来年度の中学校給食費完全無償化に必要な総額についてお伺いします。</p> <p>②学校給食法の目的を達成するためにも、安全安心な地元食材の</p>		

<p>3 トラブルが続く 柏崎刈羽原発再稼働について</p>	<p>活用を一層進めていただきたいが、市長の考えをお尋ねします。</p> <p>東京電力は1月21日、柏崎刈羽原子力発電所6号機を再稼働させました。2011年3月の福島第一原発事故後、事故を引き起こした東京電力が原発を再稼働させるのは初めてです。1月17日には6号機で制御棒を引き抜く作業中に意図しない引き抜きを防止する警報器がならないトラブルが発生しました。2017年に再稼働の前提となる新規規制基準の適合性審査に合格しましたが、柏崎刈羽原発ではテロ対策の不備で原子力規制委員会から事実上の運転停止を命じられるなど不祥事、原発の安全に関わる設備のトラブルが絶えず、原発を運転する資格はないという声が上がっています。新潟日報2月11日社説では、東京電力に対し、「原発を管理する能力があるのか、問われているのは組織の体質だ。不安を抱く県民がいて当然だろう。」と主張しています。また、新潟県の意識調査でも、東京電力が柏崎刈羽原発を動かすことは心配だとの回答は約7割に上り県民の意思、安全を置き去りにしています。このような状況の中で、柏崎刈羽原発再稼働に対する市長の受け止めをお伺いします。</p>
------------------------------------	--

順番	1 2	質問者氏名	菅 原 道 明
質問事項		質問 要 旨	
1	ごみの有料化について	<p>昨年12月に家庭系ごみ減量化施策として、ごみの有料化を検討していると説明がありました。現行施策の効果検証について、市の見解を求めます。</p>	